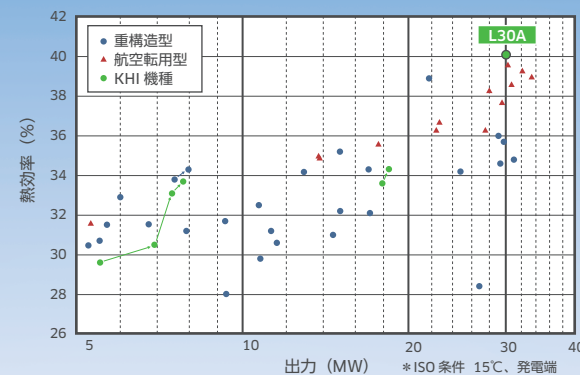


L30A-01D/DLH ガスタービン

クラス世界最高水準の発電端効率と、
低NOx性能を実現
水素混焼を可能としながらも
低NOx性を維持

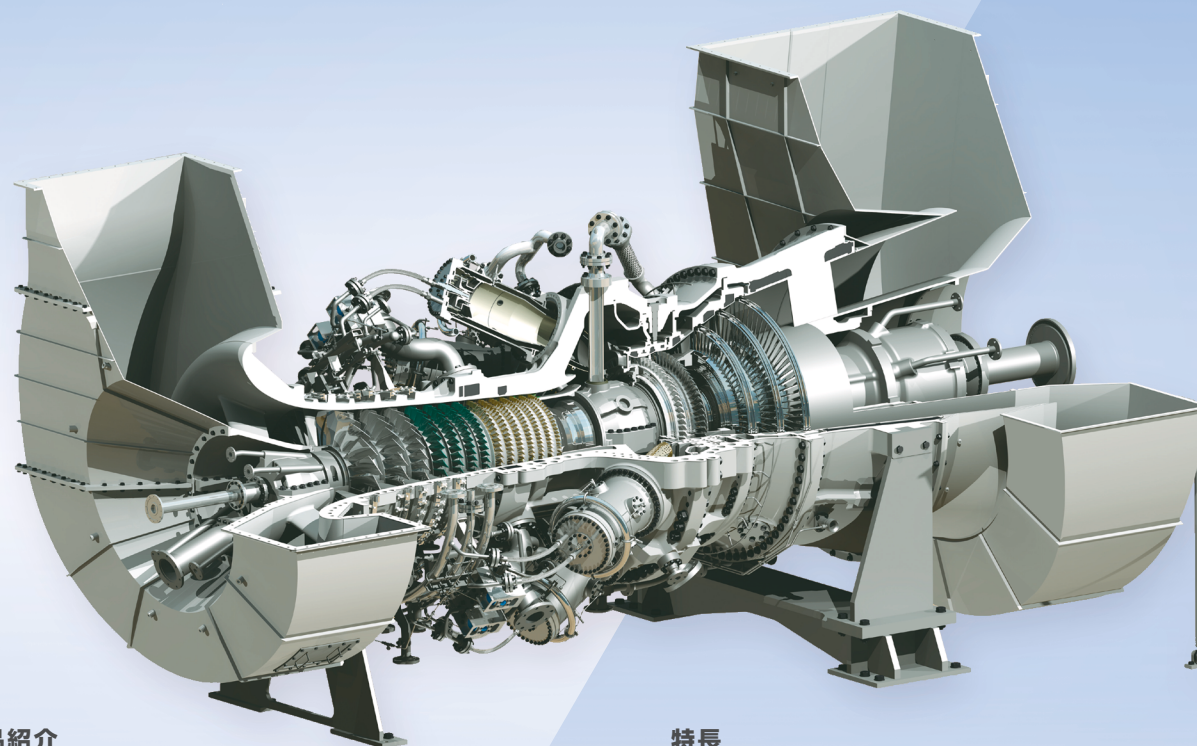
高効率化により発電端効率40.1%を実現し、
NOx保証値15ppm(O₂=15%)以下を達成。
(水素混焼(体積当たり60%)時は25ppm(O₂=15%))



2025
Kawasaki
Ecological Frontiers
S class

2016年：初回登録

川崎重工業株式会社



製品紹介

圧縮機の高圧力比化、各要素効率の向上で世界最高水準の発電効率を実現し、水素混焼も可能とするドライ低エミッション(DLE)燃焼器の搭載で、NOx排出量も世界最高レベルにまで低減した高効率ガスタービン

特長

- 20～35MWクラスで世界最高効率の発電端効率40.1%を実現
- 水素混焼も可能とする独自開発のDLE燃焼器を搭載し、排ガス中のNOx量を世界最高レベルの15ppm(O₂=15%)以下(水素混焼時は25ppm(O₂=15%)以下)まで低減
- オーバーホール間隔を従来機の4年から6年に延長